

箕面市



vol.97

令和7年(2025年)
2月発行

防火協会 だより

●発行所 箕面市防火協会
●住所 〒562-0001
箕面市箕面5丁目
11番19号
箕面市消防本部内
TEL.072-724-9002
(直通)

春の全国火災予防運動

期間:3月1日(土)~3月7日(金)

『守りたい
全国統一防火標語』

未来があるから

火の用心』



箕面市PRキャラクター
滝ノ道 ゆずる

災害状況 2月1日現在

- ◆火災……………2件
- ◆救急……………854件
- ◆救助……………13件

〈箕面市内〉

箕面市防火作品 図画の部 防火協会長賞 入賞
(春の防火ポスター 採用作品)
箕面市立西小学校 4年 花山 奏

防火・防災講演会を開催

令和六年十月十八日(金)、会員事業所における防火・防災意識の高揚を図るため、箕面市消防本部において防火・防災講演会を開催し、三十九名の皆さんが参加しました。

講師には、特定非営利活動法人日本防災士会本部理事の田中健一様をお招きし『防災！一瞬の判断と備え〜あなたは突発的な自然災害に対処できますか〜』と題してご講演いただきました。

田中様は、元兵庫県庁職員で阪神・淡路大震災時は、被災自治体の行財政支援に従事され、その後、二十七年間にわたり兵庫県庁で災害対策や防災教育などに長年携わり、退職後は、災害に関する学会に多数所属。現在は、特定非営利活動法人日本防災士会本部の理事を務められ、また東京大学生産技術研究所のリサーチフェローとして災害発生時における災害対応マニュアルや原子力災害からの避難のあり方、地区防災計画などに焦点を当てた研究活動をされておられます。

今回は、予想も付かないような豪雨や台風の発生をはじめ、南海トラフ地震の発生が目前まで差し迫っている今、突発的な自然災害に我々はどうか対応すればいいのかなどについて、防災の専門家として詳しくご講演いただき、体験談を交えた数々の話に参加した皆さんは熱心に聴き入り、盛会の内に閉会の運びとなりました。



優良防火施設視察 研修会を開催



令和六年十一月二十二日(金)、会員事業所における更なる防火意識の高揚と防災体制の充実強化を目的として、神戸市の「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」と「白鶴酒造資料館」において、優良防火施設視察研修会を実施し、十六名の皆さんが参加しました。

今回視察した「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」では震災体験者の生の声(語り部)を聞くと共に、震災直後から復興に至るまでの様々な展示物などを目の当たりにして、地震災害の恐ろしさや学ぶと共に、家族の絆や地域での助け合いの大切さを改めて痛感し、防災や火災予防の重要性を再認識しました。

また、「阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた灘五郷の一つで御影郷にある「白鶴酒造資料館」を訪れ、酒造りの歴史や伝統を知ることができました。

震災で大きな被害を受けたにもかかわらず、見事に復興され、昔と何ら変わらない伝統がしっかりと継承されている様子を伺うことができました。

今回の二施設の視察を通して、私たち人間は、どのような困難に遭おうとも、同じ目的を持ち、皆で協力し、助け合えば必ず乗り越えることができるのだと深く感銘しました。

その後、懇親会場では、和やかに会員相互の親睦を図ることができました。

消防団歳末 消防特別警戒の激励

令和六年十二月二十八日(土)〜三十日(月)に実施された箕面市消防団「歳末消防特別警戒」に伴い、寒さ厳しい中、地域の防火防災のため警戒にあたられていた消防団員に対し、感謝の意を表し、市内二十三消防分団に本協会からの激励品を贈呈しました。

箕面市防火協会事業内容

近年、都市化の進展や建築構造の多様化などにより、災害や火災の態様は複雑多様化・大規模化の傾向を強めています。火災などの災害を未然に防止するためには、一人ひとりが日頃から防災の重要性を十分認識し、自主的な防火防災活動を積極的に実施することが何よりも重要です。

本協会は、自主防災組織としての認識を更に高め、あらゆる機会を利用し、火災予防の啓発と防火防災思想の普及啓発に努めるとともに、会員事業所の防火防災体制の充実強化を推進し、次の事項を重点目標として積極的に事業を実施しています。

1. 春・秋の火災予防運動の推進
2. 人命の安全確保を基盤とした広報活動の推進
3. 各種講習会、視察研修会の実施
4. 職場防火の推進と遵法精神の高揚
5. 消防団、地域自主防火クラブなどへの助成
6. 会員事業所に対する消火器の購入及び詰替の斡旋
7. 会員相互の親睦

春の全国火災予防運動

今年も三月一日（土）から七日（金）までの七日間、『守りたい 未来があるから 火の用心』を全国統一防火標語とし、春の全国火災予防運動が実施されます。

いったん発生すると、尊い命や大切な財産を一瞬にして灰にしてしまう恐ろしい火災。全国的には、令和五年中三万八千六百七十二件の火災が発生し、千五百三人の方が亡くなっています。火災の原因の大半は、ちよつとした油断や不注意によるものです。

火災を未然に防止するためには、一人ひとりが防火の重要性を自覚し、火災を起こさないように行動していくことが大切です。

箕面市消防本部・消防団では、火災発生による死傷事故や大切な財産の損失を防ぐため、この運動を契機として、日頃忘れがちな火災に対する警戒心を喚起し、市民や事業所の皆さんと一体となって火災予防を推進しようと計画されています。



会員皆さんの事業所におかれましても、消防設備等の点検や消火、避難、通報訓練等を実施していただき、日頃の備えとして防火体制の充実強化の推進をお願いいたします。本協会としまして、効果的な火災予防運動が推進できますように、消防本部が実施する行事に協力します。

消防本部の主な行事

☆広報活動の実施

消防車両による巡回宣伝・コミュニティ放送・立看板・のぼり旗及びポスター他、インスタグラムによる火災予防を広報します。

☆防火教室の開催

事務所・自治会及び自主防災組織などを対象に防火教室を開催し、火災予防意識の高揚を図ります。

☆立入検査の実施

防火対象物及び危険物施設などへの立入検査を実施し、各施設の防火安全対策の徹底を図ります。

☆消防団ポンプ性能試験

消防団車両二十三台の点検整備を斉に実施します。

令和七年

箕面市 消防出初式

令和七年一月三日（金）、箕面市の新年幕開けを飾る消防出初式が、市立西小学校において挙行されました。当日は、穏やかな日差しの中、多数の来賓と市民の方々が来場されました。

消防職員、消防団員、学生消防隊員、婦人防火クラブ員、少年消防クラブ員の皆さん総勢五百四十九名と消防車両二十九台が、威風堂々と行進する入場行列行進に始まり、次に、市内の小・中学生から募集しました防火作品・火災予防啓発の図画・習字の大阪府消防協会豊能地区支部長表彰が行われ、入賞・入選者十二名が式典に参加し、同支部長から表彰されました。

消防訓練では、消防職員、消防団員、学生消防隊員が参加した訓練が披露され、ドローンを活用した被害状況の確認と、屋上からの緊急脱出、消防車両による一斉放水など、見応えのある迫力の内容で、来場された皆さんは訓練に見入っていました。

また、出初式終了後には、体験コーナーが開設され、本協会が寄贈した電気ミニ消防車・ミニ救急車に乗ることができたり、小型ポンプ車に乗りし写真を撮ったり、他にも水消火器体験・防火衣を着用した消防士体験など、どのコーナーも長蛇の列で、多くの子どもたちが楽しんでいました。



入場行列行進



防火作品表彰



消防訓練



体験コーナー

令和6年 消防概況（箕面市管内）※速報値

火災 26件

火災種別

◇建物火災	11件
◇林野火災	1件
◇車両火災	5件
◇その他の火災	9件

死 者	0 名
負 傷 者	4 名
損 害 額	15,859千円

*損害額調査中5件

火災件数は26件で、昨年と同じ件数となっており、おおむね14日に1件の割合で発生したことになります。また、火災により4名の方が負傷されています。

火災原因は、「電気関係」が5件で最も多く、次に「放火の疑い」が4件、「たばこ」が3件と続いています。



救急 8,849件

事故種別

◇ 急 病	5,694件
◇ 一般負傷	1,527件
◇ 転院搬送	815件
◇ 交通事故	526件
◇ そ の 他	287件

搬送人員 8,191名

救急件数は8,849件で、昨年（8,485件）と比べ364件増加しており、1日あたり約24.2件の割合で救急隊が出動したことになります。

事故種別は、急病が最も多く、救急件数の64.3%を占めており、次に一般負傷、転院搬送、交通事故と続いています。



救助 85件

事故種別

◇ 建物等による事故	61件
◇ 交通事故	4件
◇ 機械による事故	4件
◇ 火災(建物)	1件
◇ 火災(建物以外)	1件
◇ 水難事故	1件
◇ その他の事故	13件

救助人員 43名

救助件数は85件で、救助人員は43名です。

事故種別は、建物等による事故が最も多く、次に交通事故、機械による事故と続いています。



新任消防士紹介

消防本部では、昨年4月に新任消防士4名を採用し、半年間市役所での勤務を行った後、うち3名が同年10月から大阪府立消防学校において、半年間の後期初任科教育に派遣されています。

また、他の1名は、昨年10月から箕面消防署に配属され勤務しています。



うえすぎ かずま
上杉 和慎(消防学校)



こくぼ ふうご
小久保 颯悟(消防学校)



なす よしき
那須 義貴(消防学校)



よしの はやて
吉野 颯(箕面署配属)

滝ノ道ゆずるトンネルで訓練を実施しました

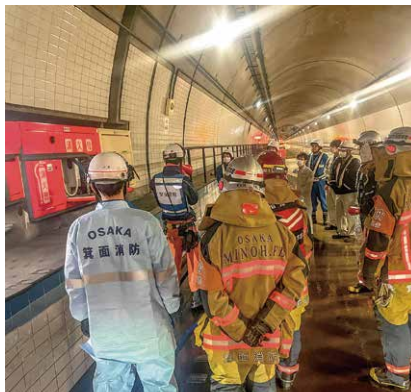
令和6年11月20日(水曜日)箕面有料道路(愛称:滝ノ道ゆずるトンネル)において、大阪府道路公社・大阪府警高速道路交通警察隊と合同防災訓練を実施しました。大阪府道路公社から道路パトロールカー1台、大阪府警高速道路交通警察隊からパトカー1台、箕面市消防本部から消防車両5台が参加しました。

この訓練は、トンネル内での車両火災や交通事故などが発生した場合に備えて、災害対応力の向上、関係機関との連携強化のため実施しています。

今回の想定は、「トンネル内を走行中の車両が居眠り運転によりハンドル操作を誤り側壁に衝突後、道路中央に停車。運転手1名と同乗者1名は自力での脱出が不可能で、事故車両から白煙が出ており、火災危険がある。」との想定で訓練を実施しました。

事故現場に最先着した大阪府道路公社職員がトンネル内に設置された消火栓を使用して事故車両に対する初期消火を実施。その後、到着した大阪府警高速道路交通警察隊員が運転手を救出しました。救出された運転手は救急隊に引き継がれ、消防隊が泡消火剤を用いて事故車両の消火活動を実施しました。

この訓練を通じて、トンネル内で発生した災害時の活動要領の確認、関係機関と連携時の課題を抽出する等、非常に有意義な訓練でありました。実災害で対応できるよう、今後も万全の体制で箕面市の安心安全に貢献できるよう尽力いたします。



『箕面市婦人防火クラブ連絡会』について

昭和55年に箕面市における婦人防火クラブ第1号として「西小路むつみ婦人防火クラブ」が結成され、「家庭防火」を合言葉にその後も市内各地域で婦人防火クラブが結成されました。

各地域の婦人防火クラブ連絡会の母体として【箕面市婦人防火クラブ連絡会】を組織し、最盛期の平成13年頃には9クラブ総勢633名で、火災予防活動にご協力いただき、箕面市の火災を未然に防止いただくことにご尽力をいただきました。

昨今、クラブ員の高齢化、女性の社会進出等の流れを受け、後継者不足など、各地域においてクラブの存続が難しくなったことから、令和6年度末をもって、箕面市婦人防火クラブ連絡会を解散することとなりました。

長きにわたり、箕面市の火災予防活動にご尽力をいただきありがとうございました。

この場をお借りして、お礼を申し上げます。

今後も各地域における火災予防活動等に引き続きお力添えをいただきますようお願い申し上げます。



協会事務局からのお知らせ

防火・防災の輪を広げるために

本協会では、「火災のない安全なまちづくり・災害に強いまちづくり」をモットーに、各種事業を積極的に推進し、安全な地域社会づくりに貢献しています。

つきましては、防火・防災への取り組みの輪を更に広げるために、新規加入していただける事業所を募っています。

会員事業所の皆さままで、本協会の事業趣旨に賛同いただけるお知らせの事業所がございましたら、ご紹介いただきますようお願いいたします。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

防火管理講習会用テキスト助成

◎防火管理者が必要な事業所

有料老人ホームなどでは、収容人員が十人以上、特定の事業所（病院・飲食店・物品販売店舗など）では、収容人員三十人以上、その他の事業所（倉庫・工場・事務所など）では、収容人員五十人以上で防火管理者を選任しなければなりません。

防火管理者になるためには、防火管理講習を受講する必要があります。本協会では、例年五月ごろに箕面市消防本部で実施されている「甲種防火管理講習」の受講に必要なテキストの助成を行っています。

防火管理講習を受講される会員事業所の皆さまは、ぜひご利用ください。

「消防団協力事業所表示制度」への参画について

さい。（ただし、事業所につき、二人までとさせていただきます。）

地域防災の中核的存在である消防団の団員数が年々減少しています。

社会経済の進展により就業構造などが大きく変化し、全国的にも消防団員の約七割が被雇用者となっています。

このような状況の中、消防団の活性化のためには、被雇用者が入団しやすく、かつ消防団員として活動しやすい環境を整備することが重要であり、事業所の消防団活動に対する二層の理解と協力を得ることが必要となっています。

「箕面市消防団協力事業所表示制度」は、勤務時間中の消防団活動への便宜や、地域防災のため、従業員の消防団への入団を促進するなど、消防団活動に協力している事業所に対して、消防本部が表示証を交付する制度です。表示証を掲示することで、協力事業所の信頼性向上や消防団と事業所との連携、協力体制の一層の強化を促進し、地域における消防・防災体制の充実強化をはかることを目的としています。

また、当該事業所の社会的貢献を広く社会にアピールしていただくことに合わせて、消防団員の活動などへの理解を深めていただく目的もあります。表示証は、事業所の見えやすい場所に掲示されるほか、事業所の印刷物やホームページに掲載することも可能です。

ぜひ、多くの会員事業所の皆さまが本制度の趣旨にご賛同いただき、積極的な参画にご協力いただき、すようお願いします。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

消火器の購入助成

本協会では、事業所内での消火器の設置普及を図るために、次のとおり購入助成を実施していますので、ご利用ください。また、詰替の斡旋も行っています。

◆助成対象の消火器（ABC10型粉末消火器）二本 二、〇〇〇円（ただし、二年度内において、会費一口につき一本とさせていただきます。）

◆助成以外の消火器（ABC10型粉末消火器）二本 六、八九〇円

《お問い合わせ先》

箕面市防火協会事務局
☎072-724-9002（直通）

令和六年能登半島地震災害義援金について

この度、箕面市防火協会では令和六年能登半島地震により被災された方への支援のため、六月六日に日本赤十字社を通じ義援金として寄附させていただきました。被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたしております。

◆義援金 一〇〇,〇〇〇円
◆送金先 日本赤十字社

協会事業所のご紹介



サントリーサンバーズ大阪



箕面市を拠点に活動をしているバレーボールチームです。2023年には50周年を迎えました。2023年にはアジアクラブ選手権大会で優勝、世界クラブ選手権大会では銅メダルを獲得し、2024年には10回目のリーグ優勝を果たしています。

現在、大同生命SV.LEAGUE MENに所属し、新リーグ初代王者を目指し日々活動をしています。